

平成23年4月27日

国土交通省 青森河川国道事務所

記者発表資料

「防雪柵存置の取組み」を平成23年度も継続します！！

～アンケート調査等の検証結果より平成23年度も防雪柵存置の取組みを継続します～

青森河川国道事務所では、「防雪柵存置の取組み」について、夏期と秋期の2回の検証結果（アンケート調査）より、平成23年度も継続して実施することとします。

「防雪柵存置の取組み」は、道路維持管理の効率化・適正化の一環として実施したものであり、「地域に対する影響」と「コスト縮減」についてアンケート調査を実施し検証してまいりました。

結果として、防雪柵の「全部存置」「部分存置」について、夏期アンケート調査（5月～8月）では約8割の方々、秋期アンケート調査（10月～11月）では約9割の方々から肯定的な意見をいただき、この結果より、当取組みについて、平成23年度も継続して実施することとしたものです。ご理解・ご協力をお願いします。

- 2回の検証（アンケート調査）では、2,412名の方々に協力していただき、「防雪柵存置の取組み」についてご意見をいただきました。結果としては、「全部存置」「部分存置」について、夏期では約8割、秋期では9割の方々より肯定的なご意見をいただき、この結果を受け、平成23年度についても、この取組みを継続して実施することとしたものです。また、現地確認の結果、景観や交通安全に支障ない区間については、新たに「全部存置」の対応に切り替え、実施してまいります。
- 今回の検証では、約1割の方々から景観等を理由に「全部撤去」というご意見をいただきましたが、地域の代表（町内会長）の方々に意向を確認し、「十和田バイパスにおける八甲田山の景観確保」や「浪岡バイパスにおける景観確保」等の指摘箇所について、平成23年度は「存置」から「全部撤去」に切り替えて対応を図ります。
- これら「地域との調整」等を経て、「防雪柵」設置撤去に係るコストについては、従前のコストに対し、平成22年度 約2,400万円（約4割）の縮減を図りました。
- 引き続き、この取組みについて、ご意見・ご要望のある方は、以下のアドレスで受付けております。URL <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>

〈 記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社 〉

問合せ先

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 住所：青森市中央3丁目20-38

電話：017-734-4521（代表）

副所長（道路） 永井 浩泰（内線205）

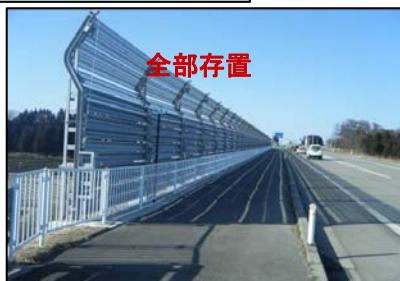
道路管理第二課長 三浦 邦彦（内線441）（管理担当）

計画課長 木村 恭一（内線261）

防雪柵存置の取組み概要

■青森河川国道事務所では、道路管理の効率化・適正化に向けた取組みの一環として、「防雪柵の存置の取組み」を実施し、「地域に対する影響」と「コスト縮減」について検証しました。

防雪柵存置の取組み



【アンケート結果概要】

■アンケート調査は、夏期(5月～7月)、秋期(10月)の2回にわたり実施。2,412名の方にご協力をいただきました。

→夏期調査は、「道路利用者(道の駅)」「沿道住民(郵送配布)」「広く一般の方々(Web)」を対象に実施。

(N=1539名)

→秋期については、「道路利用者(道の駅)」「広く一般の方々(Web)」を対象に、景観のより優れる秋に再度の調査を実施し、景観に対する意識の変化がないか確認を行いました。(N=873名)

■アンケート結果(別添資料Ⅰ・Ⅱ参照)

→夏期調査では8割の方が「存置」「一部存置」を肯定。15%の方が「全て撤去」してほしいとの回答。

→秋期調査では9割の方が「存置」「一部存置」を肯定。8%の方が「全て撤去」してほしいとの回答。

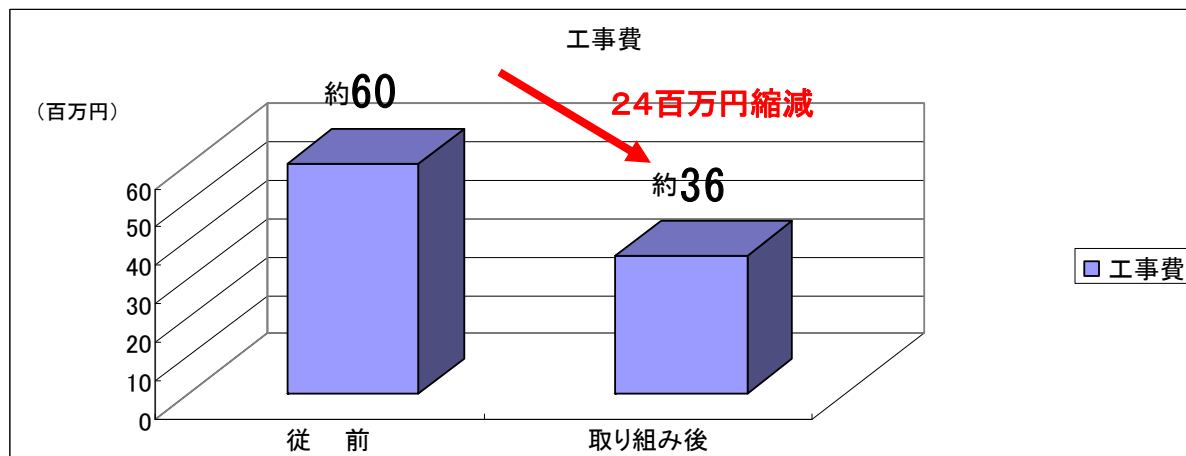
【平成23年度の実施方針】・以下の項目に配慮し「防雪柵存置」の取組みを継続します。

■アンケート調査において、約1割の方々から「全て撤去」してほしいとのご意見に対し、試験区間の地域代表の方々(町内会長等)に意向確認を実施し、結果として十和田BP、浪岡BPの一部区間について、「全部撤去」への対応に切り替えることとしています。

■また、今後、景観上や交通安全上、支障のない区間については「全部存置」対応に切り替えます。

■引き続き、当取組みについてご意見・ご要望のある方は、青森河川国道事務所HPにおいて、ご意見を受け付けております。URL <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>

【コスト縮減】



防雪柵存置の取組みに関する 夏期アンケート調査結果

8割の方が存置・一部存置と回答

一方で、「景観のため」等を理由に15%の方が「全て撤去」という声

■アンケート調査概要

本アンケート調査は、道路維持管理の効率化・適正化に向け実施している、「防雪柵存置」について、「地域に対する影響」や「コスト縮減効果」の検証を目的に実施したものです。

なお、この調査は、広く各階層の意見を集約するために、「道路を実際に利用している方々」「広く一般の方々」「実際に現地で生活されている方々」を対象としたアンケート調査を実施しています。

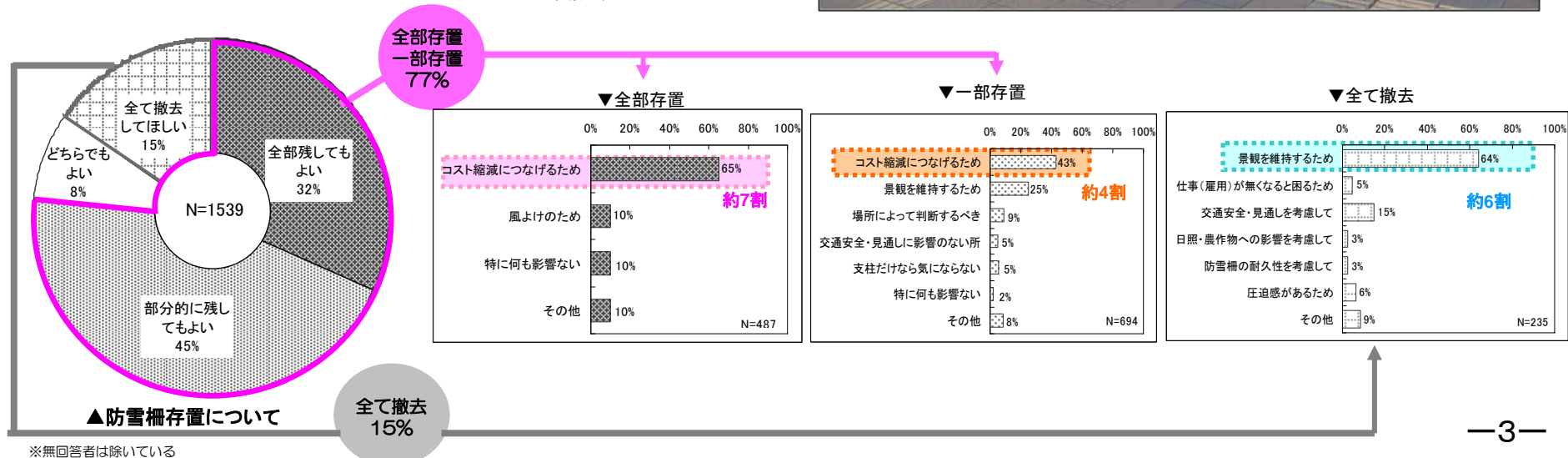
▼「防雪柵存置の取組み」に関するアンケート調査総括表

アンケート種類	アンケートの目的	実施場所	票数	総数	調査手法
道の駅 アンケート	■道路利用者の意見を徴収 →実際道路を利用移動されている方々に意見を伺いました。	道の駅「十和田」	216	746	■H22.5.9 聞き取り調査
		道の駅「浅虫温泉」	217		
		道の駅「なみおか」	313		
Web アンケート	■一般の方々の意見を徴収 →広く一般的な見識について意見を伺いました。	事務所HP・携帯	171	171	■H22.5.15 ～H22.7.31 HP・携帯
沿道住民 アンケート	■沿道にお住まいの方々の意見を徴収 →防雪柵が存置されている試験工区近辺にお住まいになられている方々に、意見を伺いました。	十和田市	72	622	■H22.7.10 ～H22.8.20 直接配布 +郵送回収
		七戸町	101		
		青森市	150		
		青森市浪岡	70		
		青森市浅虫	152		
		五所川原市	77		

総数 1,539



平成22年5月9日「道の駅」とわだでのアンケート調査



※無回答者は除いている

防雪柵存置の取組みに関する 秋期アンケート調査結果

約9割の方が存置・一部存置と回答

一方で、「景観のため」等を理由に
8%の方が「全て撤去」という声

■アンケート調査概要

本アンケート調査は、道路維持管理の効率化・適正化に向け実施している、「防雪柵存置」について、「地域に対する影響」や「コスト削減効果」の検証を目的に実施したものです。
秋期アンケート調査は、夏期調査(5月～8月)において、約8割の方々方が「全部存置」または「部分存置」としても良いとの意見を出されたことについて、景観の優れる秋に再度の調査を実施し、景観に対する意識の変化がないか確認を行ったものです。

▼「防雪柵存置の取組」に関するアンケート調査総括表

アンケート種類	アンケートの目的	実施場所	票数	総数	調査手法
道の駅 アンケート	■道路利用者の意見を徴収 →実際道路を利用し移動されている方々に意見を伺いました。	道の駅「十和田」	240	807	■H22.10.31 聞き取り調査
		道の駅「浅虫温泉」	301		
		道の駅「なみおか」	266		
Web アンケート	■一般の方々の方々の意見を徴収 →広く一般的な見識について意見を伺いました。	事務所HP・携帯	66	66	■H22.11.8～ HP、携帯サイト

総数 873



平成22年10月31日(日)「道の駅」とわだでのアンケート調査の様子

